

平成28年第2回定例教育委員会

平成28年2月25日(木)午後2時08分
江別市教育庁舎 大会議室

| | | | | |
|-----|------------------------------|---|-----|--|
| 出席者 | 委員長 委員 委員 委員 教育長 | 支 部 英 孝 上 野 聡 志 郷 早 見 橋 本 幸 子 月 田 健 二 | 説明員 | 教育部長 齊 藤 俊 彦 教育部次長 萬 直 樹 学校教育支援室長 総務課長 伊 藤 忠 信 総務課参事 大 村 勇 二 総務課参事 錦 戸 康 成 総務課参事 三 富 一 義 総務課主幹 松 崎 英 明 学校教育課長 金 子 武 史 教育支援課長 浦 田 和 秀 給食センター長 内 藤 信 治 対雁調理場長 鈴 木 正 春 生涯学習課長 佐々木 倫 淑 スポーツ課長 岩 渕 仁 情報図書館長 原 田 昭 彦 郷土資料館長 小 林 則 幸 総務課総務係長 星 野 崇 志 記録員 傍聴者 なし |
|-----|------------------------------|---|-----|--|

1 報告事項

- (1) 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- (2) 平成26年度江別市学校教育基本計画推進状況について
- (3) 平成26年度江別市社会教育総合計画(第8期)推進状況報告書について
- (4) 平成26年度江別市スポーツ推進計画(第5期)推進状況報告書について
- (5) 平成27年度江別市青少年文化賞等の表彰について
- (6) 平成27年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について
- (7) 平成28年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について
- (8) 江別市一般会計補正予算の査定について

2 審議事項

- (1) 平成28年議案第6号
教職員の事故に対する処分内申について

3 その他

○各課所管事項

- (1) 中学生国際交流事業の結果について

○次回教育委員会予定案件について

○平成28年第3回定例教育委員会の日程について

会 議 録

支部委員長

(開会)

それでは、ただいまから、「平成28年第2回定例教育委員会」を開会いたします。

本日の議事日程は配付のとおりであります。

会議に先立ち、本日の会議録署名人を橋本委員にお願いいたします。

議事に入ります前にお諮りしたい事項がございます。

議案第6号「教職員の事故に対する処分内申について」は、人事案件でありますことから、秘密会による審議を提案するものでございます。これにご異議ございませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第6号は秘密会により進行いたします。

本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。

その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。

<秘密会につき、会議録省略>

委員会を再開します。議事に入ります。

1の報告事項(1)「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」の報告を求めます。金子学校教育課長お願いします。

金子学校教育課長

報告事項(1)平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてご説明いたします。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、文部科学省の実施要領に基づき、4月から7月にかけて、各学校において実施されました。

平成27年12月に文部科学省から江別市教育委員会にその集計結果が送付されました。その結果の分析が終わりましたので、ご報告するものです。

資料の1ページをご覧ください。調査の概要です。

まず、1調査の目的ですが、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、子どもの体力向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、また、学校における指導の改善に役立てるものです。

次に、2調査対象学年は、小学校5年生と中学校2年生です。

3調査の内容は、①児童生徒に対する調査に関しては、実技に関する調査として、小学校、中学校とも記載の8種目を実施するとともに、質問紙調査があり、さらに②学校に対する質問紙調査があります。

4調査期間及び5参加状況は、記載のとおりであり、江別市内の公立小中学校は全校で実施しております。

次に3ページをご覧ください。体格と肥満度に関する調査の小学校の結果です。

一番上の四角で囲まれた部分は、調査結果の概要を、中ほどの表は男子のデータを、下段の表は、女子のデータを記載しております。データについては、今年度の江別市の数値と、全国平均値50.0に対する相対的な位置を示すT得点を掲載したほか、全国・全道の数値や、江別市の前年度、前々年度の数値を参考に併記しております。

小学校の体格と肥満度については、身長は男子が全国平均と同程度、女子がやや上回っており、体重は男子・女子ともに全国平均をやや上回っています。肥満傾向については、全国平均と同程度ですが、男子の肥満傾向がわずかに増加しております。

次に4ページをご覧ください。

中学校の体格と肥満度については、身長は男子が全国平均をやや上回っており、女子は同程度、体重は男子・女子ともに全国平均と同程度です。肥満傾向については、男子・女子ともに全国平均と同程度です。

次に実技検査の結果について、5ページから8ページにかけて記載しております。

5ページをご覧ください。

一番上の四角で囲まれた部分は、調査結果の概要を、その下の表は、各種目の成績とその点数を合計した体力合計点などのデータを、その下の縦棒のグラフは、各種目のT得点

を、その下の横棒のグラフは、良いほうから順にAからEまで5段階で評定した体力の総合評価を表しています。

5ページの小学校男子の結果については、握力、上体起こし、反復横とびが全国平均を上回り、50m走、20mシャトルランが全国平均を下回り、その他の種目は全国平均と同程度であり、体力合計点のT得点は50.6で、全国平均以上となりました。

6ページの小学校女子の結果については、握力、上体起こしが全国平均を上回り、50m走、20mシャトルランが全国平均を下回り、その他の種目は全国平均と同程度であり、体力合計点のT得点は49.6で、ほぼ全国平均と同程度となりました。

7ページの中学校男子の結果については、握力が全国平均を上回り、20mシャトルラン、長座体前屈、50m走が全国平均を下回り、その他の種目は全国平均と同程度であり、体力合計点のT得点は49.2で、ほぼ全国平均と同程度となりました。

8ページの中学校女子の結果については、握力が全国平均を上回り、その他の種目は全国平均を下回り、体力合計点のT得点は46.4で、全国平均を下回りました。

9ページから12ページは、児童生徒質問紙調査の結果です。

9ページから10ページには小学生、11ページから12ページには中学生に対する質問紙調査の結果を記載しております。左側に男子のグラフ、右側に女子のグラフを配置しております。

まず小学生について、9ページをご覧ください。

運動習慣の状況については、運動が「得意」または「やや得意」と回答した児童の割合は、男子・女子ともに全国平均を下回りました。一方で、児童の1週間の総運動時間は、男子・女子ともに全国平均を上回りました。

また、10ページの体育の授業については、授業が「楽しい」または「やや楽しい」と回答した児童の割合は、男子は全国平均と同程度であり、女子は下回りましたが、概ね9割の児童が、体育の授業は楽しいと回答しております。一方、目標の提示や振り返りが、児童の意識に残っていない割合が高い結果となっております。

次に、中学生について、11ページをご覧ください。

運動習慣の状況については、運動が「得意」または「やや得意」と回答した生徒の割合は、男子・女子ともに全国平均を下回りました。生徒の1週間の総運動時間は、男子は全国平均を上回り、女子は下回りました。

また、12ページの保健体育の授業については、授業が「楽しい」または「やや楽しい」と回答した生徒の割合は、男子・女子ともに全国平均と同程度であり、8割以上の生徒が、保健体育の授業は楽しいと回答しております。一方、小学校と同様、目標の提示や振り返りが、生徒の意識に残っていない割合が高い結果となっております。

次に13ページから14ページは、学校質問紙調査の結果です。

左側に小学校のグラフ、右側に中学校のグラフを配置しております。

まず13ページの体力の向上に関しては、体力・運動能力向上の目標設定をしている学校の割合や、授業以外で取組を行っている学校の割合は、小中学校ともに全国平均を上回りました。また、授業の目標を示す活動を「いつも取り入れている」または「だいたい取り入れている」と回答した学校の割合についても、小中学校ともに全国平均を上回りました。

14ページの生活習慣の改善と新体力テストに関しては、家庭への運動の意義や実施の呼びかけを行っている学校の割合は、小中学校ともに全国平均を上回りました。また、新体力テストの実施学年の割合は、全ての学年で、全国平均を上回りました。

続いて、最後のページをご覧ください。

この調査をもとに、江別市「体力改善支援プラン」として、まとめたものです。調査の結果、明らかになった課題については、先ほどの調査結果でご説明したとおりですが、イの実技にありますように、前年度との比較では、小学校男子が5種目、女子が7種目、記録が向上し、中学校男子は6種目、女子は5種目、記録が向上しており、各学校の取組による成果が現れてきていると考えられますが、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走などの数値が低いことから、走力、筋力、柔軟性などを高める運動に力を入れる必要があります。

ウの児童生徒質問紙では、1週間の総運動時間について中学校女子がやや少ないこと、家庭における運動に対する働きかけが少ないこと、体育の授業における目標の提示や振り

| | |
|------------|---|
| 金子学校教育課長 | <p>返りが児童生徒の意識に残っていない割合が高いことなどが課題となっております。</p> <p>資料の下段、左側は課題解決に向けた学校の取り組みであり、体力改善プランの作成による新体力テストの全学年実施や、体育科の授業改善等に取り組む必要があると考えております。</p> <p>右側が、学校に対する教育委員会の支援であり、道教委のどさん子元気アップチャレンジの啓発・表彰や、教職員の指導力向上に向けた各種研修会の実施、北翔大学と連携した各種の取組などを進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、この調査結果および体力改善支援プランについては、来月の校長会において各学校に情報提供を行い、今後の体力向上の取組に役立てていきたいと考えております。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(2)「平成26年度江別市学校教育基本計画推進状況について」の報告を求めます。伊藤学校教育支援室長お願いします。</p> |
| 伊藤学校教育支援室長 | <p>報告事項(2)平成26年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書についてご説明いたします。</p> <p>江別市学校教育基本計画は、第6次江別市総合計画の個別計画と位置づけ、平成26年度から平成30年度までの5年間の学校教育における目標や施策の方向性を示すため、平成25年度に策定いたしました。</p> <p>本計画では、第5章「計画の推進にあたって」に記載されているとおり、実効性を確保し、より効果的に施策を推進するためにPDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い、その結果については公表し、着実に計画を進めることとしていることから、平成26年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。報告する内容につきまして、赤字で囲まれた部分でございます。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。上から7段目、「基本目標1：確かな学力を育成する教育の推進」であります。成果指標1-①の学校の授業が分かると思った児童生徒の割合と1-②職場体験を通して、自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合は現状値より増加しましたが、1-③通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒の個別の教育支援計画を作成している学校の割合は減少しています。</p> <p>次年度以降の推進の方向性であります。引き続き組織的に学力向上に取り組む学校体制づくりや基礎学力の確実な定着を図る授業改善、補足的な学習への支援、ICTの整備、職場体験を含むキャリア教育などの充実を図るとともに、個別の教育支援計画作成を推進するために、学校全体で児童生徒を支援する校内体制の充実と教員の専門性の向上を図ってまいります。</p> <p>資料の2ページをお開きください。「基本目標2：豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進」であります。成果指標2-①自分には、良いところがあると思う児童生徒の割合、2-②スポーツに親しんでいる児童生徒の割合、2-③朝食を食べて学校に通う児童生徒の割合はいずれも横ばいとなっております。</p> <p>次年度の推進の方向性であります。今後におきましても、道徳教育の推進や体験活動の充実、走り方教室の実施による体力の向上や食育の取組を推進してまいります。</p> <p>次に、「基本目標3：良好な教育環境の整備」であります。成果指標3-①市立小中学校における耐震化率は増加しております。</p> <p>3ページをご覧ください。平成27年度には江別太小学校と江別第一中学校の改築校舎が完成し、平成28年度には統合校である江別第一小学校の新校舎の完成を予定しており、平成28年度末には耐震化率が100%となる見込みとなっております。</p> <p>次に、「基本目標4：家庭や地域に開かれた学校づくりの推進」であります。成果指標4-①学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合、4-②教職員の夏期・冬期セミナーの参加率はいずれも横ばいとなっております。</p> <p>次年度の推進の方向性であります。今後も、学校一斉公開や学校支援地域本部事業など各事業を推進し、学校と家庭・地域が連携していく取り組みを進めてまいります。また、</p> |

| | |
|----------------|--|
| 伊藤学校教育 支援室長 | <p>教職員の資質能力の向上を図るため、引き続き教職員セミナー等の研修を計画的に実施するとともに、より実践的かつ効果的な研修となるよう研修内容の充実を図ってまいります。</p> <p>以上が報告書の概要であります。本日、報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表する予定であります。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「平成26年度江別市学校教育基本計画推進状況について」質問等がございましたらお受けします。</p> |
| 佐々木生涯学 習課長 | <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(3)「平成26年度江別市社会教育総合計画(第8期)推進状況報告書について」の報告を求めます。佐々木生涯学習課長お願いします。</p> <p>報告事項(3)平成26年度江別市社会教育総合計画(第8期)推進状況報告書につきまして、ご説明いたします。</p> <p>本日の資料に記載の数値に誤りがあり、お配りしました正誤表のとおり訂正させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>説明につきましては、正しい数値をもとに説明させていただきます。</p> <p>第8期江別市社会教育総合計画は、第6次江別市総合計画の個別計画と位置づけ、計画期間を平成26年度から平成30年度までの5年間とし、時代の変化に対応した新たな展望と目標を提示する社会教育行政の指針とするため策定しました。</p> <p>本計画の推進には、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、PDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い計画に反映させていくこととしておりますので、平成26年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。報告する内容につきまして、赤枠で囲まれた部分でございます。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標Ⅰ：地域全体で子どもを守り育てる体制づくり」であります。1家庭の教育力の向上では、成果指標1-①おはなし会の開催、1-②地域子育てサービスの利用者数ともに増加しています。</p> <p>2地域の教育力の向上では、成果指標2-①学校が地域交流の場として活用されていると思う市民割合は増加しています。</p> <p>3子どもの可能性を引き出す教育の実践では、成果指標3-①ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合が、26年度の調査が行われなかったため、数値が取れず空白としています。なお、次回の調査は平成28年度に行われます。</p> <p>成果指標3-②生涯学習の成果を地域の社会活動やボランティア活動に活かしている市民割合は増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。資料の2ページをご覧ください。学校や社会教育施設は、地域住民のニーズを把握して主導的に学習の機会を企画し提供することができる地域学習の拠点であり、子どもを育てる環境を充実させるため、今後も施設の活用を図り地域の人材やボランティア団体などと連携した体験活動を実施し、地域間や世代間の交流を図るとともに、地域の団体活動の活性化に努めていきます。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標Ⅱ：生きがいを見出すことのできる生涯学習の推進」であります。1生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりでは、成果指標1-①生涯学習の機会が充実していると思う市民割合、成果指標1-②生涯学習の施設が充実していると思う市民割合、成果指標1-③生涯学習の情報が充実していると思う市民割合ともに減少しています。</p> <p>2市民が行う生涯学習活動への支援では、成果指標2-①公民館等使用料の減免対象となる社会教育関係団体登録数が減少しています。</p> <p>3協働・連携による生涯学習の推進では、成果指標3-①学校・家庭・地域の連携が取れていると思う市民割合、成果指標3-②自治会、NPO、ボランティア等の活動でお互いに支えあっていると感じている市民割合、ともに増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。生涯学習の機会・施設・情報が充実していると思う市民割合はいずれも低下する結果となりました。習いごとや趣味の活動を行う市民を増やすことや、生涯学習の機会や場について多くの市民に知っていただくことが重要と考えられるため、より積極的な情報提供に努めていきます。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 佐々木生涯学習課長 | <p>資料の4ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標Ⅲ：地域で育まれた多様な郷土文化の再発見と創造」であります。1市民の文化・芸術活動への支援では、成果指標1-①文化・芸術活動に参加している市民割合は減少しています。</p> <p>2文化施設の活用促進では、成果指標2-①過去1年間に文化施設を利用した市民割合は、市民アンケートの数値を利用していますが、平成24年度の市民アンケートでは調査項目になかったため、現状値数値を空白としています。</p> <p>3文化遺産の保存と活用では、成果指標3-①郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催、成果指標3-②文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合はともに減少しています。</p> <p>4芸術活動（創作・鑑賞）の推進では、成果指標4-①各種文化事業に参加している市民割合は増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。江別の文化や歴史に触れる機会について多くの市民に知っていただくことが重要と考えられるため、事業はもとより、積極的な情報提供やPRに努めていきます。</p> <p>以上が報告書の概要であります。</p> <p>本日、報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表いたします。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「平成26年度江別市社会教育総合計画（第8期）推進状況報告書について」質問等がございましたらお受けします。</p> |
| 橋本委員 | <p>1の成果指標1-②は、ぽこあぽこができたことにより、利用者数がぐっと増えているのではないかとと思われるのですが、江別市以外の方も利用できる施設なので、この利用者数は、江別市民だけの数字なのか、それとも市外の方も含まれた数字なのでしょうか。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>こちらの数字には、子育て支援センターなどを利用した方が入っておりますが、札幌市の方も含まれた数字になります。</p> |
| 橋本委員 | <p>30年度の目標値を18,000人としておりますが、これは26年度から見ると1桁下がっている数字になっていることに対してはどのようなお考えなのでしょうか。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>目標値は、この計画を策定した時に立てた値で、現状値を設定した当時は、15,807人だったことから、目標値を18,000人としています。その後、ぽこあぽこの施設ができたことで数値が上がっておりますが、このような増加要因がある前提で作った目標値ではないため、26年度の成果から見ると目標値が低いと思われませんが、これは計画段階での目標値として、このままになっています。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>3ページの生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりという部分の平成24年度と26年度を比べると大幅に数値が下がっているが、アンケートの取り方は、どういう理由でそう思うのかを問うものなのか。それとも、ただ思うか、思わないかの質問なのか。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>こちらのアンケートは市民アンケートの中で、生涯学習の機会に対して満足、どちらかという満足、普通と回答した方の累計になっております。</p> |
| 上野委員 | <p>理由を述べるというものではないということですね。わかりました。</p> <p>気になるのはアンケートのことですが、市民アンケートということで、今、お話がありました。この市民アンケートの対象者とか、人数の割合とか、年齢の対象はあるのでしょうか。先ほども思いましたが、市民の割合、市民がどう思っているかというパーセンテージが出ていますが、どういった方がどのような形で答えているのかという説明がないので、いかがでしょうか。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>市民アンケートは、無作為に抽出した市民5,000人を対象としています。男性、女性、半々という形です。</p> |
| 郷委員 | <p>もちろん成人以上かと思いますが、年齢とかもランダムですか。そうすると、アンケート結果にバラツキがある年度があっても、致し方ないのかなという事はありますよね。</p> <p>あと、報告事項の市民の割合というところは、すべてランダムで選出された方からお話を伺っているという解釈してよろしいでしょうか。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>そのとおりでございます。</p> |
| 萬教育部次長 | <p>補足いたします。このアンケート調査については、市の企画政策部が窓口で各所管から必要なアンケート項目等を調整後、毎年、まちづくりアンケートとして実施しているもの</p> |

| | |
|-----------------|---|
| <p>萬教育部次長</p> | <p>でありまして、一定の方式で毎年数値をとっていくことで、評価に用いるものでございます。郷委員ご指摘のとおり、生涯学習課長は、5,000人対象と申し上げましたが、実際に解答をしていただく市民の年齢層ですとか、そういったものは、多少、年によってバラツキはあろうかと思いますが、統計的には、それほど大きな誤差にはならないだろうという評価になっております。</p> <p>数値が大きく減少しているもので、非常に私どもも残念に思っておりますが、それにつきましては、先ほど申し上げましたとおり、情報提供の方法などを今後、工夫をしていきたいと思っております。以上です。</p> |
| <p>支部委員長</p> | <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(4)「平成26年度江別市スポーツ推進計画(第5期)推進状況報告書について」の報告を求めます。岩淵スポーツ課長お願いします。</p> |
| <p>岩淵スポーツ課長</p> | <p>報告事項(4)平成26年度江別市スポーツ推進計画(第5期)推進状況報告書につきまして、ご説明いたします。</p> <p>第5期江別市スポーツ推進計画は、第6次江別市総合計画の個別計画と位置づけ、計画期間を平成26年度から平成30年度までの5年間とし、誰もが健康で心豊かな生活を送ることができる生涯スポーツの実現を目指すために策定しました。</p> <p>本計画の推進には、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、PDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い計画に反映させていくこととしておりますので、平成26年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。報告する内容につきまして、赤枠で囲まれた部分でございます。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進」であります。生涯各期におけるスポーツ活動の機会提供と充実として、各種スポーツ教室を開催し、各年齢層別のメニューを提供しました。</p> <p>各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携としては、学校開放事業など、スポーツ活動機会の提供を行いました。</p> <p>スポーツ教室はメニューの見直しを行ったことにより利用者は増加し、学校開放事業は、各団体の会員の減少により利用者数は減少傾向ですが、利用団体は増加傾向にあり各団体の活動は活発に行われております。</p> <p>週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は37.3%ですが、年代別にみるとバラツキがあり、50代以下のスポーツをする割合が低い状況です。</p> <p>今後の推進の方向性であります。仕事や育児などでスポーツをする時間がなかなかとれないなど、各年代によりニーズが異なるため、より多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めてまいります。</p> <p>また、関係団体と連携し、スポーツ合宿誘致に取り組み、合宿で訪れるアスリートと市民との交流を通じたスポーツ振興を図ってまいります。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標Ⅱ：地域スポーツ活動の推進」であります。地域スポーツ活動の活性化のため体育協会やスポーツ少年団の活動に対する支援のほか、軽スポーツの出前事業を実施し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供しました。</p> <p>各スポーツ団体は、少子高齢化の影響を受け会員が減少している状況ですが、それぞれ活発に活動しており、全道・全国大会でも多くの選手が活躍しております。</p> <p>スポーツ機会が充足していると思う市民割合は61.3%と減少していますが、年代別で見ると若年層の方が充足していると感じている割合が高くなっています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。活動団体の活性化促進のため、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者育成等の支援を継続して行ってまいります。</p> <p>また、スポーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供や相談体制の充実に努め、スポーツを通じた健康寿命の延伸を図ってまいります。</p> <p>「基本目標Ⅲ：スポーツ環境の整備・充実」であります。災害時の避難所としても重要な社会体育施設の計画的な改修として、市民体育館の耐震補強・窓枠改修などの施設改</p> |

| | |
|-----------|--|
| 岩淵スポーツ課長 | <p>修を行い、スポーツ・レクリエーション活動の環境整備をしました。</p> <p>市内の屋内体育施設は、建築から30年以上経過したものが多く老朽化対策が課題となっており、順次改修整備を進めていますが、スポーツ施設整備の満足度は低下し59.1%となりました。</p> <p>今後の推進の方向性であります、大麻体育館の耐震化、長寿命化を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めるとともに、指定管理者と連携して利用しやすい施設運営と適切な管理を行ってまいります。</p> <p>以上が報告書の概要であります。</p> <p>本日、報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表いたします。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「平成26年度江別市スポーツ推進計画（第5期）推進状況報告書について」質問等がございましたらお受けします。</p> |
| 上野委員 | <p>先ほどの社会教育の方と連動するかと思いますが、この調査は、社会教育と一緒に調査しているものなのか、それとも社会教育とスポーツで別途に調査しているものなのですか。</p> |
| 岩淵スポーツ課長 | <p>先ほどの生涯学習課の社会教育の計画と同じように市民アンケートによって成果指標をとっておりますので、一緒のアンケートの中の項目の1つです。</p> |
| 支部委員長 | <p>今の話からすると、このスポーツ推進計画、それから先ほどの社会教育総合計画は、いろいろなものを含めたアンケートの集計で、なおかつ結果は表で分かれて出てきているとなると、たとえば、スポーツ推進計画をどうしていこうかということだけに集中してアンケートをとるということになっていない気がしますが、その辺の考え方というのは、基本的な考え方が何かあって、このようなデータの取り方をし、発表は分かれてするということになっているのでしょうか。何か経緯があったのでしょうか。</p> |
| 岩淵スポーツ課長 | <p>このアンケート自体、企画政策部のもので、毎年、5月に集計している「江別市まちづくりアンケート」というもので、その中に、各所管から、こんな調査をして欲しいという要望をあげて、今回の第6次総合計画と合わせて、調査を行っております。各所管から「このような数値をとって欲しい」という項目をアンケートに盛り込んでいるので膨大な項目があり、その中で、スポーツ課においては、この項目をとってもらっています。</p> |
| 萬教育部次長 | <p>今回、同じような体裁の表で学校教育、社会教育、スポーツと3つの計画に係る進捗状況の報告をさせていただきましたが、基本的には、江別市の総合計画という大きな計画がございまして、その中の個別計画として教育委員会で3つの計画を策定し、26年度から計画期間をスタートさせた訳でございます。先ほど、市民アンケートの関係でお答えしましたが、この指標の中には、まちづくり市民アンケート以外の調査によって、指標をとっているものもございまして。今回報告させていただきましたのは、それぞれの個別計画について、26年度の進捗状況を報告するという趣旨でございますので、同じ体裁ではございますが、バラバラの報告とさせていただいたところであります。以上です。</p> |
| 郷委員 | <p>難しいですね。報告の仕方とか、私たちの認識というか、市民アンケートの取り方も最初にわかっていたら、ということもありますね。</p> |
| 支部委員長 | <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>次に、報告事項(5)「平成27年度江別市青少年文化賞等の表彰について」の報告を求めます。佐々木生涯学習課長お願いします。</p> <p>報告事項(5)平成27年度江別市青少年文化賞等の表彰についてご報告いたします。</p> <p>今年度の表彰に関する事績の対象期間は、平成27年1月1日から12月31日の1年間としているほか、通算成績で対象となる場合は、3年前までとしております。</p> <p>年齢等の要件は、文化賞・文化奨励賞につきましては、小学生以上24歳まで、教育委員会表彰の文化部門につきましては、小・中・高校生としております。</p> <p>昨年の12月から今年1月13日までの推薦受付期間を設け、広報えべつでの掲載周知のほか、各種団体、小中学校、高等学校、大学等に推薦依頼を行い、推薦のあった候補者の事績内容等の確認をしました。</p> <p>文化賞につきましては、全国規模の大会等で3位以内に相当する成績を収めた候補者を、庁議の意見を伺った上で、市長決裁により最終決定しております。</p> <p>また、文化奨励賞につきましては、全道規模の大会等で優勝、または、それに相当する成績を収めた候補者を、市長決裁により最終決定しております。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 佐々木生涯学習課長 | <p>さらに教育委員会表彰につきましては、全道規模の大会等で2位、3位の成績を取めた候補者を、教育長決裁により最終決定しております。</p> <p>今回の受賞者につきましては、1ページに文化賞の6個人1団体を、2ページに文化奨励賞の5個人を掲載しております。</p> <p>また、3ページに、教育委員会表彰文化部門の4個人6団体を掲載しております。</p> <p>各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等につきましては、記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと思います。</p> <p>また、年度別の受賞者数統計につきましては、4ページに参考資料として添付しておりますので、併せてご参照ください。</p> <p>なお、贈呈式につきましては、2月20日土曜日、午後2時から、市民会館大ホールでスポーツ賞等と一緒にいき、文化賞・スポーツ賞、文化奨励賞・スポーツ奨励賞につきましては市長から贈呈、教育委員会表彰につきましては、支部教育委員長から贈呈していただいております。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「平成27年度江別市青少年文化賞等の表彰について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> |
| 岩淵スポーツ課長 | <p>次に、報告事項(6)「平成27年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について」の報告を求めます。岩淵スポーツ課長お願いします。</p> <p>報告事項(6)平成27年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰についてご報告いたします。</p> <p>事績の対象期間、推薦受付期間、各賞の基準や決定方法は、文化賞等と同様ですが、年齢等の要件が文化賞等とは違い、スポーツ賞、スポーツ奨励賞は小学生以上、大学生などを除く19歳未満、教育委員会表彰のスポーツ部門は小学生・中学生としております。</p> <p>今回の受賞者につきましては、1ページにスポーツ賞の7個人2団体を、2ページから3ページにかけてスポーツ奨励賞の16個人13団体を掲載しております。</p> <p>また、4ページから5ページにかけて、教育委員会表彰スポーツ部門の21個人7団体を掲載しております。</p> |
| 岩淵スポーツ課長 | <p>各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等につきましては、記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと思います。</p> <p>また、年度別の受賞者数統計につきましては、6ページに参考資料として添付しておりますので、併せてご参照ください。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「平成27年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>それでは、私の方から。年々、受賞対象者が増加傾向になっていることから、江別市の文化賞、スポーツ賞も含めてレベルアップしているイメージを受けます。また、このように表彰することによって、スポーツ、文化に対する指導、あるいは受けようとする小中学生の励みになる気がします。ますます拾い上げていくと言いますか、褒めるものは褒めるという形をとっていければ良いかと思うところであります。</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> |
| 岩淵スポーツ課長 | <p>次に、報告事項(7)「平成28年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について」の報告を求めます。岩淵スポーツ課長お願いします。</p> <p>報告事項(7)平成28年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画につきまして、ご説明いたします。</p> <p>資料の「事業計画書」をご覧ください。</p> <p>平成28年度の事業計画につきましては、財団の理事会並びに評議員会の議決を得て、市に提出されたものであります。</p> <p>第25期事業計画の内容は、1ページから4ページに記載しております。</p> <p>初めに、資料の1ページの総括であります。財団は、「市民皆スポーツ」をさらに推進するため、各種スポーツ教室及びスポーツ大会等を開催するとともに、市民体育館をはじ</p> |

| | |
|----------|--|
| 岩淵スポーツ課長 | <p>めとする屋内体育施設を、指定管理により、引き続き管理運営を実施するものであります。事業運営に当たっては、利用者の利便に立った弾力性のある運営とサービスの提供を図りながら、施設の利用を高めるとともに、利用者が満足感を得られるよう努めていくこととしております。</p> <p>また、3ページに記載の、江別市都市公園施設につきましても指定管理による管理運営を行うほか、受託事業として、屋外体育施設等の管理運営を行うこととしております。次に、4ページをご覧ください。</p> <p>自主事業の計画であります、「集まれちびっこ元気祭り」、「トレーニング室の早朝開放」「親子で遊ぼう、わくわく広場」の3事業を引き続き実施することとしております。次に、5ページをご覧ください。</p> <p>第2の平成28年度収支予定表、1 予定収支予算書につきましては、まず、収入の部では、1の基本財産運用収入7千円は、基本財産3千万円の定期預金の利息であります。次に、2の事業収入のうち補助事業収入399万4千円につきましては、スポーツ大会参加料、健康体力づくり受講料、スポーツ指導者養成講習会受講料であります。また、受託事業収入1,549万2千円につきましては、屋外体育施設管理等の受託に係る収入であります。次に、指定管理事業収入2億4,680万9千円につきましては、屋内体育施設指定管理料、大麻集会所指定管理料、都市公園の屋外体育施設の指定管理料及びスポーツ教室受講料のほか、屋内体育施設利用料金、大麻集会所利用料金、都市公園の屋外体育施設の利用料金であります。</p> <p>3の補助金収入4,475万1千円は、スポーツ大会開催事業、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業の実施に要する江別市からの補助金であります。4の雑収入311万5千円は、預金の受取利息及び自動販売機設置手数料等であります。この結果、当期収入合計額は3億1,416万8千円となるものであります。</p> <p>次に、6ページをご覧ください。支出の部であります、1の補助事業費4,875万6千円のうち、スポーツ大会開催に要する事業費が1,120万2千円、健康体力づくり指導相談に要する事業費が253万円、スポーツ指導者養成に要する事業費が25万8千円、これらの事業に要する人件費などの管理費が3,476万6千円あります。</p> <p>2の受託事業費1,493万8千円のうち、屋外体育施設管理運営受託事業費が530万2千円、大麻出張所管理運営受託事業費が619万1千円、選挙事務開票会場設営管理等受託事業費が74万6千円、これらの事業に要する人件費などの管理費が269万9千円あります。</p> <p>3の指定管理運営費2億4,932万8千円のうち、屋内体育施設の指定管理に要する管理運営費が1億2,554万4千円、大麻集会所管理運営費が451万円、都市公園の屋外体育施設の管理運営費が501万円、これらの指定管理運営に要する人件費などの運営管理費が1億1,426万4千円あります。</p> <p>4の自主事業費は、事業に係る経費109万6千円あります。</p> <p>5の予備費に5万円を計上し、その結果、当期支出合計額は、3億1,416万8千円となるものであります。</p> <p>7ページの予定正味財産増減計算書及び8ページの予定貸借対照表につきましては、それぞれ記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと存じます。以上です。</p> <p>ただいま報告のありました「平成28年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>上野委員 岩淵スポーツ課長 上野委員 岩淵スポーツ課長 支部委員長</p> <p>スポーツ教室などで新しく増えたというものありませんか。例年通りですか。教室としては、1教室が新しくできて、1教室を廃止したので増減としては0ですが、全部で37教室を引き続き行うことにしています。定員については、今年状況を見て、若干130人程減少していますが、教室としてはプラス1件、マイナス1件、トータルとしては27年度と同じとなっています。以上です。</p> <p>ちなみに、新しく始めた教室は何でしょうか。新しくできたのは、小学生の水泳教室で月曜日のコースを追加したものです。なくなったものは、ジュニアチアダンス教室というものです。以上です。</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)</p> |
|----------|--|

| | |
|-----------|---|
| 支部委員長 | 次に、報告事項（８）「江別市一般会計補正予算の査定について」の報告を求めます。大村総務課長お願いします。 |
| 大村総務課長 | <p>前回の定例教育委員会におきまして、第１回定例市議会に提出予定されております一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の状態でご説明申し上げましたが、過日査定結果の通知を受けましたので、変更点についてご説明いたします。</p> <p>資料の江別市一般会計補正予算の査定についてをご覧ください。</p> <p>前回の補正予算要求では、記載されております９事業の他に給食センターから物品修繕費の減額がありましたが、財政部局の査定により、なくなりました。</p> <p>教育部補正額の合計は、１億８千５３９万４千円の減額でございます。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>ただいま報告のありました「江別市一般会計補正予算の査定について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>続いて、３のその他に入ります。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | <p>各課所管事項「（１）中学生国際交流事業の結果について」の説明を求めます。佐々木生涯学習課長お願いします。</p> <p>各課所管事項（１）中学生国際交流事業の結果についてご説明いたします。</p> <p>今年の中学生国際交流事業は、今月６日土曜日から１５日月曜日までの１０日間、受入れを実施いたしました。</p> <p>今回の訪問団は、オレゴン州グレシャム市ゴードンラッセルミドルスクールの中学生６名、引率教諭１名の合計７名で、中学校での交流学习を中心とした学校生活の体験が行われました。</p> <p>初日の６日は、夜中に江別に到着後、旅館に一泊し、翌日の７日、ウェルカムパーティーのあと、生徒たちはそれぞれのホームステイ家庭へとまいりました。</p> <p>８日から１２日までは、中学校での体験入学を行い、受入れ校である第三中学校、大麻中学校の生徒と同じ教科を学びました。</p> <p>受入れをお願いしました両校におきましては、英語を交えた授業や日本文化に触れる機会を設けていただくなど、様々な協力をいただきました。</p> <p>また、引率のミシェル・フルシャー先生は第三中学校、大麻中学校において授業を行いました。両校の生徒たちは、北米大陸の開拓史を通して、誇張された民話を題材に昔話に見られる大げさな表現方法を学んだ後、身近な事柄について誇張した文章を作成し、発表しました。</p> <p>１３日の１２時から、ホストファミリーとのさよならパーティーを開きました。グレシャムの生徒からお礼のメッセージを書いた色紙が手渡される場面があるなど、生徒と受入れ家庭のみなさんは別れを惜しんでいました。</p> <p>１４日は、土曜広場の講師の方々にご協力いただき、日本文化である箏と日本舞踊を体験、その後見学研修として北海道博物館見学、セラミックアートセンターにて陶芸体験を行いました。</p> <p>翌日１５日、江別を離れ、帰国いたしました。以上です。</p> |
| 支部委員長 | <p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>それでは私から、質問という訳ではありませんが、皆さん元気で無事に帰られたのでしょうか。</p> |
| 佐々木生涯学習課長 | 無事に帰られました。 |
| 支部委員長 | 次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。大村総務課長お願いします。 |
| 大村総務課長 | <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、「平成２８年第１回江別市議会定例会の一般質問について」などを予定しております。また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、３月３０日水曜日午後２時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> |
| 支部委員長 | ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は３月３０日水曜日午後２時からと |

| | |
|-------|--|
| 支部委員長 | いうことで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第2回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会) |
|-------|--|

終了 午後3時24分

署名人(委員長) 支部 英孝

署 名 人 橋本 幸子